

○ 又入学試験の時期がめぐってくる。

高等学校、大学、のみならず、小学校、幼稚園にさても。親にも、先生にも、子供にも、頭の痛くなる時である。小学校の入学試験のためには、就学前期から受験準備が出てくる。幼稚園に殺到する申込者は、どうしても何かの方法で選りわけねばならないことになる。上を向いても、下を向いても、頭痛はちまき。哀れなのは子供達である。

テスト、テスト。「双葉には酷しすぎないか」と何処かの先生が云われた。人口の多すぎる日本の国では必然的な現象なのかもしれない。

けれど、こんなことで幼児教育の真使命が歪められないようにと願う。受験準備をお願いします。と頼む親、少しは受験準備をして下さいと口を挟む経営者。本当に子供の味方である現場の先生達のよりどころにも、と思つて、今月号には受験の問題を編集して、この問題に心を

寄せる方々から、意見を伺つた。

○ 十二月、クリスマスの時期。学芸会や子供劇などいろいろの催物が行なわれるだろう。子供の劇は大人が見物して面白がるものではない。見せることを主体にするものではない。子供自身の為にならなくてはならない。子供の生活と結びついたものでなくてはならない。

### 編集後記

子供にやらせる(?) 劇のことをもう一度考えてみよう。

今月号には、子供の劇の具体的な指導について、すぐれた先生方から、具体例、及び指導法についての意見を伺つた。今後一層研究工夫すべき分野である。

幼児の教育 第五十三巻第十一号

定価金五十円

昭和二十九年十月二十五日印刷

昭和二十九年十一月一日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉橋物三 発行者

東京都文京区大塚町三十五  
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町二ノ五

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

○本誌御購読についての御注文は発売所  
フレーベル館にお願いします。